

うと市議会だより

編集／議会だより編集委員会

発行／宇土市議会 平成22年11月15日発行

宇土市浦田町51番地

TEL 0964-22-1111 FAX 0964-22-6313

<http://www.city.uto.kumamoto.jp>



ハロウィンパーティー

「ハッピーハロウィン！」はなその保育園の園児たちが、かわいいおばけに変身。

CONTENTS

- P2～3 平成22年第2回臨時会
- P4 平成22年第3回定例会
- P5～8 一般質問
- P9～10 委員会報告
- P11 議案・請願等の議決結果
- P12 平成22年第4回定例会日程等

11

常任委員会

経済建設常任委員会



委員長 山村 保夫
副委員長 平江 光輝
委員 浜口多美雄



委員 中口 俊宏 西山 宗孝 村田 宣雄

総務市民常任委員会



委員長 野添 正利
副委員長 櫻崎 政治
委員 岩本 廣海



委員 嶋本 圭人 堀内 千秋 福田 慧一

文教厚生常任委員会



委員長 芥川 幸子
副委員長 柴田 正樹
委員 杉本 信一



委員 野口 修一 藤井 慶峰 九谷 新吾

各常任委員会の所管

- 総務市民常任委員会
総務企画部・市民環境部・会計課・監査委員・選挙管理委員会・他の委員会に属しない事項
- 経済建設常任委員会
経済部・建設部・農業委員会
- 文教厚生常任委員会
健康福祉部・教育委員会

常任委員会とは？

市議会で取り扱う問題は、数が多く、内容も幅広い分野にわたっています。これを議員全員で審議するよりも、市の仕事をいくつかの部門に分け専門的に詳しく審査した方が効率的です。このため委員会を設けています。常任委員会は、条例に基づいて置くこととされ、全議員が必ず一つの委員会に所属することになっています。

宇土市議会では、「総務市民委員会」、「経済建設委員会」、「文教厚生委員会」の3つの常任委員会を設置しています。定数は各常任委員会とも6人です。

平成22年 第2回市議会臨時会

新体制での市議会がスタート

10月3日の市議会議員一般選挙により、新しく18人の議員が誕生しました。選挙後の初議会となる臨時会が10月21日に開催され、正副議長の選挙、議会運営委員会及び各常任委員会の委員の選出並びに宇城広域連合、上天草・宇城水道企業団議員の選挙を行い、議会構成を決定しました。

また、市長提出議案として上程された宇土市監査委員の選任については、原案のとおり同意し、岩本廣海議員が議会選出の監査委員として選任されました。

正副議長就任あいさつ



議長 堀内千秋



副議長 西山宗孝

市民の皆様には、日頃より市議会に對しまして深いご理解とご協力を賜り心から感謝申し上げます。

このたび、十月二十一日に開かれまして市議会臨時会におきまして、議員各位のご推挙により議長並びに副議長に就任いたしました。私たちにとりまは、誠に身に余る光栄に存じますとともに、その職責の重さを痛感しているところであります。ご承知のとおり、今日の社会経済状況は一部に明るい兆しが見えると言われておりますが、依然として厳しい状況であります。

本市におきましても厳しい財政状況の中、少子・高齢化社会に向けた医療・福祉の充実、環境問題、都市基盤整備など、重要な政策課題が山積してあります。

これらの多様化する課題や市民の皆様のご要望にお応えするために、市民・行政・議会が密接に連携し、協働により、さらなる市政発展と開かれた議会運営・円滑な議会運営に全力を傾注する所存であります。どうか今後とも、市民の皆様のご支援ご協力をお願い申し上げます。就任の挨拶とさせていただきます。

議会運営委員会

委員長	副委員長	委員
杉本信一	九谷新吾	野添正利 浜口多美雄 福田慧一 岩本廣海

議会運営委員会とは？

議会を円滑、効率的に運営するために設置する委員会のことです。会期、議事日程、議案等の取扱い、質問の取扱いなどの議会の運営について話し合います。

法令に基づく各種議員

宇城広域連合	堀内千秋 西山宗孝 岩本廣海
上天草・宇城水道企業団	浜口多美雄 福田慧一



SAKODA 横に開発が進む大型店

トップセールスで企業誘致と地元業者の育成を

九谷議員 投票率が県下ワースト1という不名誉な状況に、投票率アップのための具体的な啓発をどう考えているのか。

元松市長 投票率低下の主な要因として若年層の投票率の低さがあり、成人式での投票呼びかけや期日前投票制度の周知・啓発を検討している。さらに標語を記した標柱、看板等を設置することなども検討している。議員指摘のように市民や職員から、投票率アップのアイデア募集を行い、啓発を積極的に進めていく。

参議院選挙の投票率県下ワースト1について



(無所属)
九谷新吾 議員

市長のトップセールスについて

九谷議員 企業進出の際に建設業・物品納入・物流関係などの地元業者活用などトップセールスをを行い、地元産業育成を図るべきではないか。

元松市長 マニフェストに掲げているとおり進出企業に地元業者活用を積極的に働きかけ、企業や商工会等の各種団体にご協力いただき、アンテナを大きく張り巡らした情報収集や雇用を予定している「企業誘致アドバイザー」の有効活用により、効果的なトップセールスを行っていく。

電子行政化について

九谷議員 ITでエコ対策、事務の効率化と事務処理コストの削減が図れるのではないかと。

総務企画部長 電子申請の利用促進啓発と電子メールでの対応など、ITでのエコ対策及び事務の効率化による通信費などのコスト軽減が図れるよう、今後調査研究をしていく。

九谷議員 宇土市の現状を踏まえ、これからの電子行政化について、市長の考えを伺いたい。

元松市長 ITを活用した行政の電子化を推進するためには、情報発信が重要であると考えるので、ホームページのリニューアルを行うなど、市民が便利だと実感できる電子行政化を検討していく。

平成22年 第3回定例会

第3回定例会を8月25日から9月9日まで16日間の会期で開催しました。市長提出議案として、平成21年度水道事業会計決算認定の決算関係1件、平成22年度一般会計補正予算(第2号)など予算関係9件、宇土市情報公開条例等の一部を改正する条例など条例関係4件、宇土市監査委員選任の人事案件1件、その他2件、議員提出議案として、宇土市長の専決処分に関する条例の一部を改正する条例の1件が上程され、いずれも原案のとおり決定しました。なお、議案の主な内容は下記のとおりです。

決算

◆平成21年度宇土市水道事業会計決算の認定について
地方公営企業法第30条第4項の規定により、平成21年度宇土市水道事業会計決算を監査委員の意見を付けて議会の認定に付するもの。
総収益4億6,541万円で、前年度より3,900万円の減額、また、総費用4億6,229万円で、前年度より1,558万円の増額となっており、損益で3,12万円の純利益である。

条例

◆宇土市情報公開条例等の一部を改正する条例について
情報公表に関する施策の条文を新たに規定し、情報提供の充実を図り、また、情報公開の対象文書の範囲を拡大させ、制度の充実を図るもの。
さらに情報公開制度と文書管理制度及び個人情報保護制度との整合性を図るため、「宇土市文書管理条例」及び「宇土市個人情報保護条例」の改正も併せて行うもの。
施行日 平成23年4月1日
〔主な改正内容〕
・情報公開の対象となる実施機関に宇土市土地開発公社を新たに含める。
・開示対象文書の範囲を平成10年4月1日以後に作成又は取得したものに拡大する。

長において専決処分することができる事項として和解に関する事務を追加するとともに、併せて条文の整備を行うもの。

予算

◆平成22年度宇土市一般会計補正予算(第2号)について
歳入歳出それぞれ1億1,362万8千円を増額し、総額を13億5,450万2千円とする。補正の主な内容は、5月の人事異動に伴う予算組み替えによる人件費の増額、県営排水対策特別事業負担金3,000万円の増額、マリナ振興経費860万1千円の増額、災害復旧経費2,437万8千円の増額である。

◆平成22年度宇土市介護保険特別会計補正予算(第1号)について
歳入歳出それぞれ2,702万円を増額し、総額を2億9,933万6千円とする。主な内容は、事業費の確定に伴う過年度返還金及び介護保険基金の積立金を補正するもの。

人事

◆宇土市監査委員の選任について
尾沢 安治郎(任期4年)
(敬称略)



契約

◆宇土市公共下水道宇土終末処理場の建設工事委託に関する協定(その8)の変更協定の締結について
平成21年6月23日に議決した宇土市公共下水道宇土終末処理場の建設工事委託に関する協定(その8)を一部変更するため、議会の議決を求めるもので、工事の設計の一部変更等により3,854万円を減額するもの。
協定金額の減額
変更前 2億2,900万円
変更後 1億9,046万円

◆宇土市立網津小学校校舎改築本體工事請負契約の変更契約の締結について
平成21年10月30日に議決した宇土市立網津小学校校舎改築本體工事請負契約を一部変更するため、議会の議決を求めるもので、設計内容の一部変更に伴い1,282万4,111円を増額するもの。
請負金額の増額
変更前 5億64万円
変更後 5億1,346万4,111円



網津小学校新校舎完成イメージ



鶴城中学校

安全・安心のうとづくり

安心して働ける職場の確保



(無所属)
上村雄二郎 議員

上村議員 家庭・地域の平和な暮らしは、安心して働ける職場があり、安定した収入が得られてはじめて実現するものである。全国の各自治体がしのぎを削り企業誘致活動を行っている中で、全国一律の制度融資や補助金の創設では企業誘致は不可能である。現状を認識し、いかに具体的な内容を企業に提示できるのか、今後の宇土市の企業誘致への取り組みについて。

下田経済部長 県の中央に位置し交通の要衝である利点を生かし、市内企業に影響が出ない情

小中学校を核とした地域づくり

報通信関連企業の誘致を図ると共に、市内の環境分析分野の産業も含めた既存企業の増設及び関連企業の誘致により、雇用創設に繋げて行く。また、今回雇用予定の企業誘致アドバイザーを活用して情報収集や広報PR活動を更に充実させ、誘致に取り組みたい。

上村議員 地方の責任は人材育成である。教育こそが何よりも重要な施策であり、市の将来、ひいては日本や世界を背負って立つ人材育成こそが大きな使命であると訴えてきた。宇土小、

網津小の改築を機に、日本一の



鶴城中を建設し、教育から宇土市を再生してみているだろうか。

高木教育部長 宇土小・網津小の改築が完了すると、幼稚園・小中学校の大規模改造事業に着手することも可能になってくる。この大規模改造事業は、建築後20年以上が経過した建物について、経年変化により建物の改修を行うことで、建物の耐久性の確保を図るものである。この事業により、鶴城中学校をはじめとする各幼稚園・小中学校の整備計画を進め、優先順位などを考慮しながら教育環境の充実に努めていければと思っている。

網津小の改築を機に、日本一の



土のグラウンド (鶴城中学校)

未来を担う子ども達に充実した教育環境を

教育環境について



(公明党)
芥川幸子 議員

芥川議員 本市の小中学校での校庭芝生化への取り組みについて。

高木教育部長 今後、先進地導入例など調査研究し、学校や地域住民の意向を聞きながら検討していきたい。

本市の新しい福祉への取り組みについて

芥川議員 本市における「うつ病」の方や「ひきこもり」の方の実態を把握しているか。また、今後、その対応を何か考えているのか。

中田健康福祉部長 本市におけるうつを含む心の相談状況は、前年度は55名。今年度中に人材

養成事業の一環として本市職員を対象に、うつ病に特化したメンタルヘルスの職員研修を計画し、来年度地域リーダー研修として、関係機関の職員等の方々に対象に研修会の開催や市内全世帯に自殺・うつ対策等のパンフレットの配布を考えている。「ひきこもり」については、実態把握に努めて参りたい。

芥川議員 育児放棄・児童虐待による子どもの安全確保優先の状況と今後の対策について。

中田健康福祉部長 市では虐待防止に向けた取り組みとして保健センターにおいて、乳幼児の状況把握と育児支援に向けて4つの事業を行っている。

芥川議員 本市における高齢者の所在確認業務の実態と、所在不明の高齢者はいるのか。

中田健康福祉部長 百歳以上の高齢者29人全ての方に面会して、所在確認を行った。今後百歳未満の方の確認方法は、医療

保険や介護保険の利用実績による確認方法など検討すべき課題があると考えている。
芥川議員 高齢者が外出先で倒れたり、事故に巻き込まれた時に備え、「緊急時連絡カード」等の配布をお願いしたい。
中田健康福祉部長 今後、緊急時連絡カードの取り扱いについて、実施している自治体の状況を参考に検討したいと考えている。

学校を活性化させるための地域の教育力について

芥川議員 「学校支援地域本部事業」の現状と今後の取り組みについて

高木教育部長 住吉中校区で「学校支援地域本部事業」を実施している。ボランティア登録者数は、現在85人。昨年の活動回数は3校で延べ690回、ボランティア参加者の延べ人数は3710人である。今後は、学校、家庭、地域の連携を十分に図り、これらの事業を更に充実発展させていく必要があると考えている。



大雨により氾濫する潤川

介護保険料・利用料の軽減、水害対策と巡回バスの運行を



(日本共産党) 福田慧一 議員

介護保険料・利用料の負担軽減を

福田議員 介護保険がスタートして十年。保険料は一・五倍となり、認定もより厳しくサービスの切下げも進んでいる。施設利用者は居住費や食費が重い負担となっている。このままでは所得の少ない高齢者は利用できない。国に改善を求めると同時に、市独自の保険料・利用料の軽減策を作るべきではないか。元松市長 サービスを受けたくても受けられない方々のためにも、公費負担の拡充は必要と考える。低所得者の負担軽減ができるよう国・県に制度の改善を要望していく。

大型店の身勝手な許さぬガイドライン策定を

福田議員 ジャスコ宇土店が来年一月末に閉鎖されるとの報道に市民の不安が広がっている。後継店や雇用の確保、テナント業者や地域経済の支援に万全を尽くすと共に、市としても大型店の一方的な出店・撤退に歯止めをかけるガイドラインの策定が必要ではないか。下田経済部長 ジャスコ宇土店の撤退は唐突で、市としても大変驚いている。早速、市・商工会・宇土市シティの三者で、イオン九州に対し、退店時期の延期、従業員の雇用確保について、申し入れを行ったところである。また、企業誘致アドバイザーを雇用し、対策を図る予定である。ガイドラインの策定については、県や関係機関とも協議し、必要であれば検討したい。

水害対策 強制排水施設の設置を

福田議員 梅雨時期になると毎年のように住宅への浸水、道路の冠水がおき被害が出て、市民生活に大きな影響を与えている。船場川、大坪川、潤川などの改修を進めるとともに大型ポンプで浜戸川へ直接強制的に排水する施設が必要ではないか。元松市長 本市の地形上、潮の干満の影響を受けることが、道路の冠水の大きな要因でありポンプ施設での強制排水は、最も効果的な治水対策と考えている。市としても根拠となる調査を行い、県管理の潤川や国管理の浜戸川への強制排水施設の設置要望を行う。

交通不便地域へ巡回バスを

福田議員 高齢化が進み、交通不便地域では買い物や通院など大変不便である。早急に巡回バスなど実現すべきではないか。元松市長 市の実状に合った持続可能な公共交通システムの構築を、費用対効果も含めて考え、来年度方向性を固め24年度実施で考えている。

9月1日に総務市民委員会、2日に経済建設委員会、3日に文教厚生委員会を開催し、付託された議案等について審査を行いました。その主な内容は、次のとおりです。

総務市民

総務企画部・市民環境部・その他を所管



芥川幸子委員長

論議された主なものを報告いたします。

まず、住宅用太陽光発電システム設置費補助金について、前年度と比較した申請状況と予算が枯渇している状況での事前着工の可否についての質疑に対し、執行部から、前年度は61件の申請が行われており、今年度は8月初旬までで既に51件の申請があつております。予算の範囲を超えている現在の状況での事前着工につきましては、設置者に対して申請を待っていただいておりますが、住民間の不公平が無いように着工後の申請につきましても認めています。との答弁がありました。

次に、過払金提訴について、訴訟に要する弁護士委託料はどのくらいなのかとの質疑に対し、執行部から、通常は事務所経費、着手金や過払い金額に対する報酬割合で費用が計算されますが、本市の場合顧問弁護士に委託しているため、1件につき5万円を過払い金の回収が完了したときにお支払しています。また、これについては、返還された金額から優先的に5万円を差し引き、残りを市税に充当しています。との答弁がありました。以上が、論議された主な内容であります。本委員会に付託を受けました議案については、全会一致で原案のとおり可決致しました。

次に、陳情につきましてご報告申し上げます。平成22年 陳情第3号 住民の安心・安全を支える行政サービス拡充を求める陳情書については、全会一致で不採択と致しました。

経済建設

経済部・建築部・農業委員会を所管



堀内千秋委員長

論議された主なものを報告いたします。

まず、委員から、平成21年度水道事業会計の決算について、厳しい状況が続いているが、有収率及び使用料の収納率の推移はどうなっているのかとの質疑に対し、執行部より、有収率については、平成21年度は85.5%で平成20年度より5.5ポイント上昇しました。漏水調査を特に力を入れて行い、ここ2年余りで15ポイント改善した月もあり、年間では10ポイントほど改善しております。今年度も平成21年度以上の有収率を確保できる見込みです。

また、収納率についても、嘱託員を雇用し、下水道課と連携して徴収事務に取り組んでおり、毎年少しずつではあります。改善してきてい

ます。との答弁がありました。次に、委員から、特定公共賃貸住宅条例の一部改正について、入居資格の緩和は一般市営住宅には適用しないのかとの質疑に対し、執行部から、一般市営住宅は入居を希望する待機者が多く、現時点で入居資格の緩和は考えておりません。との答弁がありました。

次に、企業振興促進条例の一部改正について、企業立地奨励金の交付年度を「翌年度」から「翌年度以後」に変更する理由は何かとの質疑に対し、現在の条例では、対象年度内指定企業から交付申請がなされなかつた場合、企業立地奨励金が交付できない。そのため、申請があれば翌年度以後でも交付ができるようにするものです。との答弁がありました。

平成 22 年第 3 回宇土市議会定例会議決結果一覧

【市長提出議案】

番 号	件 名	議決の結果	付託委員会
第 58 号	平成 21 年度宇土市水道事業会計決算の認定について	原案認定	経済建設
第 59 号	宇土市情報公開条例等の一部を改正する条例について	原案可決	総務市民
第 60 号	宇土市火入れに関する条例を廃止する条例について	〃	経済建設
第 61 号	宇土市企業振興促進条例の一部を改正する条例について	〃	経済建設
第 62 号	宇土市特定公共賃貸住宅条例の一部を改正する条例について	〃	経済建設
第 63 号	平成 22 年度宇土市一般会計補正予算（第 2 号）について	〃	総務市民 経済建設 文教厚生
第 64 号	平成 22 年度宇土市国民健康保険特別会計補正予算（第 1 号）について	〃	文教厚生
第 65 号	平成 22 年度宇土市簡易水道事業特別会計補正予算（第 2 号）について	〃	経済建設
第 66 号	平成 22 年度宇土市公共下水道事業特別会計補正予算（第 2 号）について	〃	経済建設
第 67 号	平成 22 年度宇土市老人保健医療特別会計補正予算（第 1 号）について	〃	文教厚生
第 68 号	平成 22 年度宇土市介護保険特別会計補正予算（第 1 号）について	〃	文教厚生
第 69 号	平成 22 年度宇土市漁業集落排水施設整備事業特別会計補正予算（第 2 号）について	〃	経済建設
第 70 号	平成 22 年度宇土市後期高齢者医療特別会計補正予算（第 1 号）について	〃	文教厚生
第 71 号	平成 22 年度宇土市水道事業会計補正予算（第 2 号）について	〃	経済建設
第 72 号	宇土市公共下水道宇土終末処理場の建設工事委託に関する協定（その 8）の変更協定の締結について	〃	経済建設
第 73 号	宇土市立網津小学校校舎改築本體工事請負契約の変更契約の締結について	〃	文教厚生
第 74 号	宇土市監査委員の選任について	原案同意	

【議員提出議案】

番 号	件 名	議決の結果
発 議 第 3 号	宇土市長の専決処分に関する条例の一部を改正する条例	原案可決

【議員派遣の件】

件 名	議決の結果
第 244 回熊本県市議会議長会出席のため	原案可決

【報告】

報告番号	件 名
第 10 号	平成 21 年度宇土市財政の健全化判断比率について
第 11 号	平成 21 年度宇土市簡易水道事業資金不足比率について
第 12 号	平成 21 年度宇土市公共下水道事業資金不足比率について
第 13 号	平成 21 年度宇土市漁業集落排水施設整備事業資金不足比率について
第 14 号	平成 21 年度宇土市水道事業資金不足比率について
第 15 号	専決処分の報告について 専決第 13 号 訴えの提起について
第 16 号	専決処分の報告について 専決第 14 号 訴えの提起について

【請願・陳情】

	受理番号	請願・陳情の件名	付託委員会	議決結果
継続審査に なっている陳情	平成 22 年 1	子供手当の廃止を求める意見書の提出に関する陳情書	文教厚生	継続審査
陳情	平成 22 年 2	超高齢化社会における「成長」を支えるシルバー人材センター活動への支援の要請について	文教厚生	採択
	平成 22 年 3	住民の安心・安全を支える行政サービスの拡充を求める陳情書	総務市民	不採択

文教厚生

健康福祉部・教育委員会を所管



村田宣雄委員長

論議された主なものを報告いたします。

まず、委員から、介護保険の申請をした場合、認定されるまでどれくらいの期間が掛かるのかとの質疑に対して、執行部から、申請書が出されてから1か月。との回答がありました。

これに関連して、初めて認定申請をする人は、1カ月という非常に長く感じられる。認定結果が早く出るようにお願いするとの要望がありました。

次に、委員から、小学校の工事の進捗状況はどうか。との質疑に対して、執行部から、今現在、宇土小学校が41%、また、網津小学校が50%近い進捗率となっています。宇土小学校が来年7月15日、網津小学校が来年2月15日竣工予定となっています。



す。現在、若干遅れておりますが、工期内には収まるように持って行きたい。との回答がありました。

以上が、論議された主な内容であります。本委員会に付託を受けました議案については、全会一致で原案のとおり可決致しました。

次に、陳情につきましてご報告申し上げます。平成22年陳情第1号 子供手当の廃止を求める意見書の提出に関する陳情書については、全会一致で継続審査といたしました。

次に、平成22年陳情第2号 超高齢社会における「成長」を支えるシルバー人材センター活動への支援の要請については、全会一致で採択といたしました。



岩本廣海委員長

8月26日、執行部出席のもと本特別委員会を開催しました。

8月9日、当特別委員会と網田地区の地域高規格道路（城塚〜網田区間）整備促進期成会、並びに、昨年、網津地区で設立されました、地域高規格道路（城塚〜網田区間）割井川インテグレーション整備促進期成会とともに、熊本県、国土交通省熊本河川国道事務所、それに今が初めての民主党熊本県連への官民一体となった要望活動を行いました。それぞれに宇土市の課題と要望重点事項についての説明を申し上げ、重ねて所要の予算額の確保を、強くお願いしてまいりました。

次に、「熊本・宇土道路」及び「宇土道路」の進捗状況について、執行部より説明がありました。

まず、「熊本・宇土道路」の用地取得の状況については、宇土市側、熊本市側共に前報告からの進捗はない。

工事の状況についても、前報告から新たな工事発注の動きはないが、工事施工の進捗については、予定通り順調に進んでいる。試験盛土工事については、ほぼ完了している。

また、緑川大橋の橋梁工事につきまして、また、大学教授などの学識経験者、地元関係者、漁協、発注者の熊本河川事務所、設計

者で構成されている、「熊本57号熊本宇土道路緑川大橋影響調査検討委員会」が開催されている。との説明がありました。

「宇土道路」については、網津・網田地区で、現在水質と動植物の現地調査が行われている。との説明がありました。

以上の報告を踏まえ、委員会が論議されました。主な内容をご報告いたします。

まず、委員から「緑川大橋影響調査検討委員会」の協議内容について質疑があり、執行部からは、緑川大橋が与えると思われる影響について、様々な調査・検討が行われている。今回、5回目の委員会が7月28日に開催され、これから漁業補償関係の算定に入る予定でしたが、各漁協から調査項目の追加が提案され、その調査に所要の日数がかかると思われる。

また、緑川大橋は、河川内に7本の橋脚を設置する計画となっており、下部工（橋脚）の施工に、3年、上部工の施工に、3年、全体で6年間の計画となっている。しかし、漁業補償が長引けば、着工時期もずれ込んでいく可能性もある。との説明がありました。

次に委員より、各漁協から出された要望：要望は、どのようなものだったのか。との質疑に対し、アサリ、ハマグリ、魚のえさ等、漁場はどういう影響が出るのか。また、橋脚が建設され、川の流れが変わることによる影響等に対する、非常にシビアな意見が出された。との説明が執行部からありました。

また、委員より、「熊本・宇土道路」の用地取得が進んでいないので、難航している原因を、再度調査するように要望がありました。

地域高規格道路促進等対策特別委員会

議会を傍聴しませんか

市議会では市民の皆さんの生活に密着した問題が審議されています。身近な市政を知るために、ぜひ一度傍聴してみませんか。

- ◆議会傍聴席は市役所議会棟 2 階の議場内にあります。傍聴席入り口で必要事項をご記入のうえ、席へお着きください。また、委員会傍聴については議会事務局にて受付をお願いします。
- ◆本会議の傍聴席の定員は 50 人です。
- ◆委員会傍聴については、委員会室の広さ・内容等により人員を制限する場合がありますのでご了承ください。
- ◆原則として、本会議、委員会は午前 10 時開会ですが、議事の都合で変更する場合があります。
- ◆本会議傍聴の際は、傍聴席入口に掲示の注意事項をお守りください。

子ども議会



8月5日（木）、市議会本会議場で、小・中学校の児童・生徒の代表者 22 名が参加して、「宇土市子ども議会」が開催されました。

子ども議員は、高齢者福祉や環境問題、将来のまちづくり等について、子どもの自由な発想や視点から捉えた質問をし、市執行部が丁寧に答弁していました。

編集後記

今号より、新しい編集委員に代わりました。「議会だより」は、議会の活動を市民の皆さんにお知らせするための大切な紙面だと考えています。より一層分かりやすく、読みやすく、一人でも多くの人に読んでいただけるよう、編集に努めてまいります。また、市民の皆さんからご意見をお寄せいただき、今後の「議会だより」作成に活かしていきたいと思っておりますので、よろしくお祈りいたします。



編集委員

- ◆左から：山村委員（経済建設委員長）
- 芥川副委員長（文教厚生委員長）
- 杉本委員長（議会運営委員長）
- 野添委員（総務市民委員長）

平成22年 第4回定例会会期日程(15日間)

12月 6日	開会
7・8・9日	質疑・一般質問
10日	文教厚生委員会
13日	総務市民委員会
14日	経済建設委員会
20日	閉会

市議会からのお知らせ

市議会のホームページで、本会議（定例会・臨時会）の会議録を公開しています。

【アドレス】

<http://www.city.uto.kumamoto.jp/gikai/assembly.html>

本会議の会議録（冊子）は、市情報公開コーナー（市役所 1 階ロビー）、市立図書館で閲覧できます。

なお、平成 22 年第 3 回定例会の会議録は、平成 22 年第 4 回定例会以降に閲覧可能です。

◎生中継（ライブ放送）

議会開会中、本会議（定例会・臨時会）の様態を生中継で市役所 1 階ロビー・網津支所・網田支所に設置されているテレビモニターでご覧になれます。

【お問い合わせ】

市議会事務局 0964-22-1111 内線 2611

